第３９回法人会全国大会（群馬大会）参加報告

副会長　　小林　通伸

第３９回法人会全国大会（群馬大会）が、令和５年１０月１８日、高崎芸術劇場で開催され、全国の各法人会から約１，５００名の会員が集い、当会からは２名が参加しました。

群馬交響楽団によるウェルカムコンサートで温かく迎えられた後、第１部の記念講演では、日本通信株式会社代表取締役社長の福田尚久氏が、「好機到来」との演題で講演されました。福田氏は、アップルコンピュータ(現 Apple)でスティーブ・ジョブズ氏の直属でグローバル戦略やマーケティングを手掛けた中で、いろいろと経験されたことを話されました。また、インターネットの影響を過小評価したため、日本は世界の成長から取り残されたが、一人ひとりの「欲」が異なり「個別最適」が求められる今、ものづくりの力にすぐれた日本の中小企業にとって絶好の時である、と強調されました。

第２部の大会式典では、一般社団法人群馬県法人会連合会の齋藤一雄会長の開会の辞、主催者を代表して小林栄三全法連会長の挨拶に続き、住澤整国税庁長官、山本一太群馬県知事ほか来賓の祝辞、会員増強表彰等の授彰式を経て、「令和６年度税制改正に関する提言」の報告、昨年度の全国青年の集いにおける発表で最優秀賞を受賞した鹿児島県連の鹿児島法人会青年部会による租税教育活動の報告、そして「大会宣言」の朗読により締めくくられました。最後に次期開催地の鹿児島県連会長の閉会の挨拶と鹿児島県紹介ビデオが上映され幕を閉じました。

第３部の懇親会は、会場をホテルメトロポリタン高崎に移動し、４年ぶりの通常形式での開催となりましたが、いくつかの会場に分散しての懇親会となり、当法人会は高松国税局管内の法人会が集う懇親会に参加しました。 群馬県産の食材を使った食事を堪能しながら、情報交換を行い、また会員交流を深めました。